原爆ドーム及び平和記念公園周辺地区における目指すあかりのイメージ検討について【1/4】

資料４

１　原爆ドームを照らす照明の色温度比較（参道前から原爆ドームを望む軸線上の眺め）



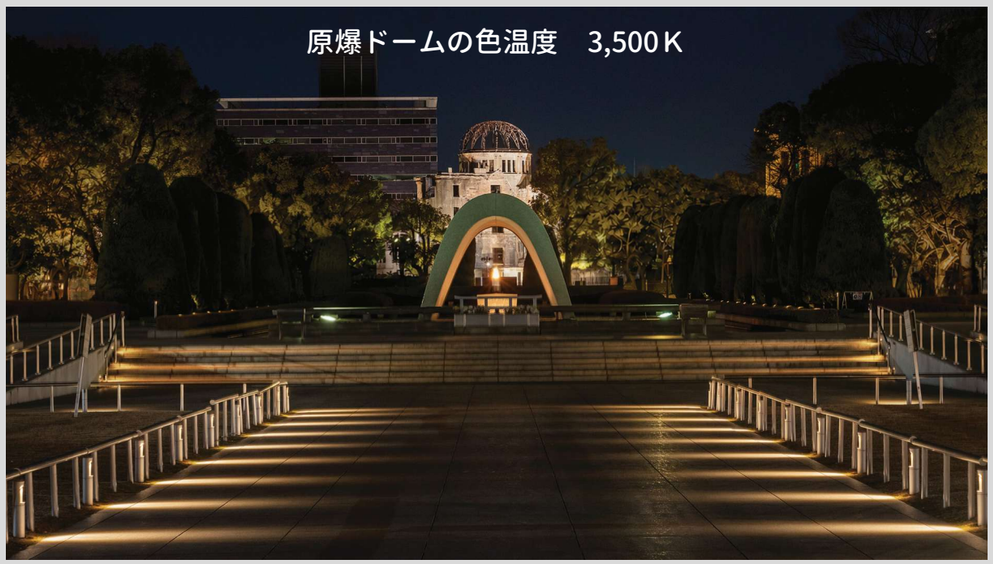
評価

・軸線上の色温度が電球色で統一される。（一般的に電球色と呼ばれる色温度の下限値）
・平和の灯（約2,000K）との親和性が高い。



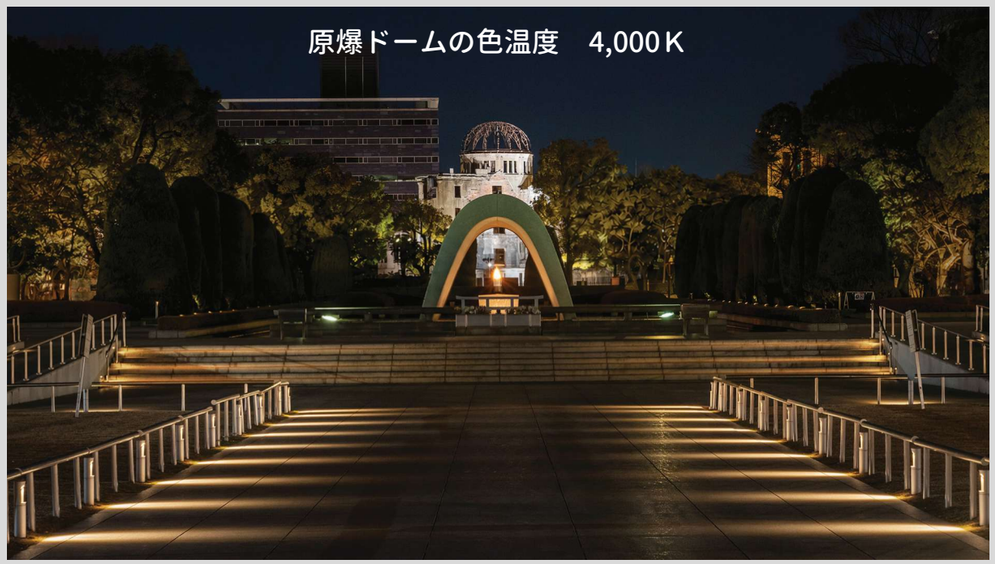
評価

・軸線上の色温度が電球色で統一される。（一般的に電球色と呼ばれる色温度の上限値）
・平和の灯（約2,000K）を引き立たせることができる。



評価

・電球色より少し高い色温度であるが、軸線上が暖かみのある色温度で統一される。
・平和の灯（約2,000K）との対比で双方を強調することができる。



評価

・現状と同様の色温度。
・原爆ドームを際立たせながら、平和の灯（約2,000K）も強調することができるが、
軸線上の色温度にばらつきが出てしまう。

原爆ドーム及び平和記念公園周辺地区における目指すあかりのイメージ検討について【2/4】

資料４

２　原爆ドームを照らす照明の色温度比較（慰霊碑から原爆ドームを望む軸線上の眺め）



評価

・軸線上の色温度が電球色で統一される。（一般的に電球色と呼ばれる色温度の下限値）
・平和の灯（約2,000K）との親和性が高い。



評価

・軸線上の色温度が電球色で統一される。（一般的に電球色と呼ばれる色温度の上限値）
・平和の灯（約2,000K）を引き立たせることができる。



評価

・電球色より少し高い色温度であるが、軸線上が暖かみのある色温度で統一される。
・平和の灯（約2,000K）との対比で双方を強調することができる。



評価

・現状と同様の色温度。
・原爆ドームを際立たせながら、平和の灯（約2,000K）も強調することができるが、
軸線上の色温度にばらつきが出てしまう。

資料４

原爆ドーム及び平和記念公園周辺地区における目指すあかりのイメージ検討について【3/4】

３　相生通り側公園入口から原爆ドームを眺めるシーン景観（原爆ドームを照らす照明の色温度については、前頁（P.1、P.2）の評価を踏まえ、2700Kにしています。）



評価	総評
・厳かな雰囲気は感じるが、モダンな印象	○



評価	総評
・厳かな雰囲気は感じるが、少し派手な印象。 ・光源が直接目に入るおそれがある。	○



評価	総評
・参道の既存照明手法に近い印象。 ・基壇部の座ることができるスペースに干渉してしまう。	△



評価	総評
・厳かな雰囲気を感じる。 ・被爆の遺構が眠る平和記念公園の地面を照らすという照明手法の意義がある。	◎

※ 樹木については各案共通して装飾過多にならない程度のライトアップをした状態にしています。

原爆ドーム及び平和記念公園周辺地区における目指すあかりのイメージ検討について【4/4】

資料４

４　元安川沿いの園路から原爆ドームを眺めるシーン景観（原爆ドームを照らす照明の色温度については、前頁（P.1、P.2）の評価を踏まえ、2700Kにしています。）



評価	総評
・厳かな雰囲気を感じる。 ・既存ポールの間隔が広く、明暗の差を補う照明が必要。	○



評価	総評
・厳かな雰囲気を感じる。 ・原爆ドームを眺めた際に視界に入るポールが増えるため、昼間のシーン景観に影響を与えるおそれがある。	△



評価	総評
・厳かな雰囲気は感じるが、少し派手な印象。 ・原爆ドームを眺めた際の視界が良好であるが、光源が直接目に入るおそれがある。	△



評価	総評
・厳かな雰囲気を感じる。 ・原爆ドームを眺めた際の視界が良好。グレアもない。	◎